

活動紹介

2016年 3月 21日

青年海外協力隊 平成27年度1次隊

エチオピア 理科教育 上田好美

ティナステリン！サラムナチュ？(公用語:アムハラ語で“こんにちは！お元気ですか？”)
2015年7月からエチオピアに理科教育隊員として派遣されている、上田好美です。

エチオピアはアフリカ諸国の中でも特色ある生活文化を持ち、エチオピア独自の“アムハラ語/フィダル文字”“エチオピア暦”“時間の数え方”“コーヒーセレモニー”等があります。主食はテフ（穀物の一種）から作る“インジェラ”に“ワット”という具材を包んで手で食べます。私はバハルダールという地方都市に住んでいて、タナ湖（エチオピア最大の湖）に隣接した、のんびりとした雰囲気の過ごしやすい街です。度々の停電や断水にも、今ではもうすっかり慣れて生活しています。

私の活動先は1～8年生が在籍する生徒数約2600名の緑豊かな小学校で、その中の7・8年生の理科（化学・物理・生物）にて実験・観察等の実践的な理科授業の導入・継続を目的に、現地の材料での実験器具作成・実験導入等を活動として行っています。アムハラ語でのコミュニケーションはまだまだ難しいですが、外国人の私に対してもとてもフレンドリーに接してくれる親切な先生方や元気な生徒達に囲まれ、日々活動に励んでいます。

写真紹介



1. 街の様子



2. コーヒーセレモニー



3. インジェラ



4. 子どもたちの登下校のようす



5. 物理の授業